

各校の成果と課題、「今後、力を入れて取り組む内容」

小学4年生

学校	教科	成果○と課題●	今後、力を入れて取り組む内容
川之江小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な漢字や言葉などの理解が深まっている。 ○ 物語における登場人物の心情を想像することができる。 ● 問題文が長くなると正確に題意や条件が捉えにくくなる。 ● 話し手の工夫を捉えることが十分でない。 ● 自分の考えを具体的に表現する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ こそあど言葉や既習漢字などを日常生活で使うように指導し、より定着を図る。 ・ 朝学習「レッツスタディ」の時間などを活用して、文章問題に取り組む機会を設ける。 ・ 朝の会のスピーチなどで話し手の工夫に目を向けさせるなど、日常的に工夫に触れる機会を設ける。 ・ 感想を書く際に、書く視点を与えたり、考えや気持ちを伝える言葉を提示したりして、表現力を高める。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四則を使った計算をする力が身に付いている。 ○ 角度や割合など基礎的な問題を解く力が身に付いている。 ● 単位換算に課題がある。 ● 計算自体はできるが、計算の意味や考え方、決まりを理解できていない児童が多い。 ● 問題文に合う条件の理解が十分でない。 ● 図形の定義や性質を正しく理解することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用したドリル教材を活用し、反復練習に取り組むことで基礎学力の定着を図る。 ・ 具体物を用いて確認し、量感を高める。 ・ 既習事項を活用して説明し合う活動を取り入れる。 ・ 題意や条件を正しく理解できるように、文章題に取り組む機会やグラフから読み取る機会を増やす。 ・ 作図などの問題に取り組む中で定義を理解できるようにする。
金生第一小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を正しく読んだり書いたりしている。 ○ 相手に伝わるように、話の中心の理解が明確になるよう話の構成を考えている。 ● 物語の内容を正確に読み取り、感じたことや考えたことを文にまとめることが苦手である。 ● 主語と述語の関係や連体修飾語についての理解が十分ではない。 ● 指定された条件を満たして文章を書くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テストや漢字はかせに丁寧に取り組み、今後も基礎学力の定着を図る。 ・ 場面の様子や気持ちの変化を考えるために、キーワードやキーセンテンスに線を引く活動に取り組み、内容を理解しやすくする。 ・ 段落の役割について考えたり、事実と自分の考えを区別したりしながら、書く活動に取り組みさせる。 ・ 書いた文章を読み返すときに、言葉と言葉、文と文のつながりに注目して、分かりやすい文章を意識させる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数直線上に示された大きい数の読み取りや小数の大小比較ができる。 ○ 2桁÷1桁の余りの処理をして正しい答えを求めることができる。 ● 10分の1や100倍した数を求めるなど、数の概念が十分に身に付いていない。 ● 四角形の性質を理解し、コンパスを使って作図する技能に課題が見られる。 ● 除法の性質を理解し、計算の仕方を説明する力が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テストの直しを丁寧に行い、数の理解を定着させる。 ・ 週に1回程度、三角定規や分度器、コンパスなどを使った作図の練習を行い、作図の手順を身に付け、技能の向上を図る。 ・ 考えを説明する例文を基にして、同じように説明する練習を繰り返す。
金生第二小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を正しく読んだり、書いたりする力が付いている。 ○ 物語の内容を読み取る力が付いている。 ● 話し合いの内容を聞き取る力に課題がある。 ● 説明文の内容を読み取り、要約する力や文章を書いたりする力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要なことを記録したり、質問したりする習慣を付け、話し手が伝えたいことを簡潔にまとめる活動を行う。 ・ 文章の中からキーワードを見付け出し、短い文章で要約する活動を継続して行う。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ わり算の問題は、文章問題から立式し、正しい答えを求める力が付いている。 ○ ある位までの概数の表し方を理解している。 ○ 計算のきまりを理解している。 ● 二直線が交わってできる角の大きさを求める力に課題がある。 ● 折れ線グラフから数値を抜き出し、答えを求める力に課題がある。 ● コンパスを使ったひし形の作図に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算ドリルやプリントを活用し、角の大きさや図形の性質を復習する。 ・ 小数のしくみや概念の復習、位名などの復習を行う。 ・ グラフを読む問題の際には、一目盛りを意識して読めるよう、反復練習を行う。 ・ コンパスを使った作図の問題に取り組む。

上 分 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語文を読み、叙述を基に登場人物の心情を読み取ることができています。 ○ 指定された長さで、事実と自分の考えを文章で書くことができています。 ○ 主語や述語、ことわざ、修飾語などの言葉の基礎的な知識が身に付いています。 ● 漢字を正しく読んだり、書いたりすることに課題があります。 ● 説明文を読み、段落相互の関係を捉えたり、中心となる語や文を見つけ、要約したりすることに課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝のスキルタイムなどを利用して既習漢字の小テストを繰り返し行い、習得を目指します。 ・ 説明文を要約する機会を増やし、文章の大きな内容や中心となる語や文について理解できるようにします。 ・ 必読書リレーなど読書活動を通して、語彙を増やしていきます。 ・ 事実と自分の考えを区別しながら、条件に合わせて、文章を書く学習を今後も続けていきます。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 概数の表し方や概数に対応する数の範囲についてよく理解できています。 ○ 四則計算、グラフの読み取りなど基本的な技能が身に付いています。 ● 割合についての文章題を読み、図で表したり、立式したりすることに課題が見られます。 ● 垂直と並行・角の大きさなど、図形についての理解が不十分です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図形の基本的な性質の復習を行うとともに、作図などを取り入れた学習を行います。 ・ 基準量をはっきりさせながら、割合について復習を行い、文章問題を図に表したり、立式したりすることで理解できるようにします。
南 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4学年に配当されている漢字の読みができています。 ○ 登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えることができています。 ● 第3学年に配当されている漢字を正しく書くことができていません。 ● 説明文の内容を読み取ることに課題があります。 ● 文章をテーマに沿って、指定された形式で書くことが難しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4学年の漢字だけでなく、これまでに習った漢字を繰り返し練習して定着を図ります。 ・ 説明文に触れる機会を朝学習や宿題に取り入れ、どのように読み取るのかについて指導し、練習していきます。 ・ 朝学習や授業中に、キーワードを使って書く活動を取り入れ、練習します。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数直線上に示された大きい数の読み取り方を理解しています。 ○ わり算の筆算など基礎的な問題は平均と同程度の力が付いています。 ● 角の性質や平面図形の性質の理解が十分にできていません。 ● 折れ線グラフを正しく読み取ることに課題があります。 ● 示された考え方をもとに、計算の仕方を説明することが難しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ eライブラリなどを活用し、自分の苦手な分野を繰り返し練習します。 ・ 垂直や平行と四角形の復習を行ったり、分度器や三角定規を使用する問題を繰り返し解いたりします。 ・ 授業の中でどのように問題を解いたのかを自分の言葉で書いたり、説明したりする活動を取り入れるようにします。
川 滝 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習した漢字を、正しく読んだり書いたりしている。 ○ ことわざの意味を知り、正しく使っている。 ○ 様子を表す語句をたくさん知っており、語彙が豊かである。 ● 説明文の内容の読み取りに課題がある。 ● 条件に従って文章を書くことが、十分身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みきゃん通帳や地域の図書館を活用し、読書を推奨することにより、読解力を育む。 ・ キーワードを用いて学習のまとめや振り返りを書くことで、条件に従って文章を書く力を高める。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに学習してきたことが十分身に付いている。 ● データを活用して、数量の関係を説明することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト等で繰り返し計算練習をし、さらに四則計算の定着を図る。 ・ 文章問題では、題位を捉えて立式し、説明する練習を行う。
妻 鳥 小	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字を正しく読み書きすること ○言葉の意味を理解し、正しく使うこと ●調べて分かったことを発表すること ●条件に合うように文章を書くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き漢字の定着を図れるよう、家庭学習やスキル学習などで繰り返し学習していきます。 ・ 意味調べの活動を通して、正しい言葉の使い方を学習し、語彙を増やしていきます。 ・ 情報と情報との関係について理解し、必要な情報を選び、理由や事例などを挙げながら話す活動を取り入れていきます。 ・ 指定された分量や段落の役割を理解し、文章を書くことができるように、字数を制限し、内容の中心を意識しながら文章を書く活動を取り入れていきます。

	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小数の大小比較や単位の換算をすること ○ 文章問題を読んで状況を判断し、正しく立式すること ● 垂直・平行の性質や四角形の作図方法の理解が不十分であること ● 折れ線グラフの読み取りが不十分であること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小数を用いた計算問題や文章問題に定期的に取り組んでいきます。 ・ 定期的に文章問題を解く機会を設け、繰り返し学習していきます。 ・ 実際に作図したり読み取ったりする練習に取り組み、作図方法や図形の性質への理解を高めます。 ・ グラフをかいたり、読み取ったりする問題を解く機会を増やしていくとともに、他のグラフとも関連させながらグラフに対する理解を高めます。
松柏小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習した漢字を正確に読むことができています。 ○ 物語文では、叙述を基に登場人物の気持ちを読み取ることができています。 ● 話合いの内容を聞き取って、話し手の工夫を捉えることができていない。 ● 主語と述語の関係や修飾語の理解が不十分である。 ● 指定された長さや構成で、自分の考えを書くことが苦手である。記述問題の無解答率が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の漢字練習で正しく漢字を書くことができるように繰り返し練習する。 ・ スピーチ活動等で話の中心を明確にして話したり、意図を捉えながら聞いたりする練習を積み重ねる。 ・ モジュール学習や授業の中で、主語と述語などの言葉の学習に力を入れていく。クロームブックを活用し、いろいろな問題を解いて定着を図る。 ・ クロームブックを使って文章の構成を組み立て、例文を参考にして自分の考えを書く練習をしていく。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 億と兆を数字で表したり、四捨五入して概数で表したりする問題の正答率が高かった。 ○ わり算の技能が身に付いている。 ● 示された考えを基にして、小数の計算の仕方を正しく説明することが苦手である。 ● 二つの数量の関係を捉えて割合を考えることが十分に理解できていない。 ● 角の大きさの読み取りやひし形の作図が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小数を用いた計算の理解が不十分である。今後も授業や家庭学習で繰り返し練習し、基礎・基本の計算問題の定着を図る。 ・ 問われていることに対して、何をどのような順番で説明するとよいかを具体的に示し、考え方を説明する機会を多く設定する。 ・ 数量関係を図に表し、基の大きさの何倍になったかを正しく理解できるように繰り返し練習する。 ・ 角度の読み取り方や作図の仕方を復習し、モジュール学習や家庭学習で練習する。
三島小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4学年に配当されている漢字を正しく読む力が付いていました。 ○ 指定された段落構成で、中心を明確にして事実を伝える文章を書くことができていました。 ● 主語と述語の関係、連体修飾語についての理解に課題が見られました。 ● 話の中心を明確にするための話合いの工夫について考えることに課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝のモジュール学習では、引き続き漢字の読みや書き取りの力を高めることができるように努めます。 ・ 主語と述語の関係、修飾語などの言葉の学習の復習を丁寧に行っていきます。 ・ 友達の意見を聞いて、自分の考えとの違いを考えたり、自分の考えの根拠となることを明確にして話したりすることを意識付けながら、互いの考えや思いを伝え合う学習活動を進めます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 余りのあるわり算を正確にしたり、計算のきまりについて理解したりするなど、基礎的な問題がよくできていました。 ○ 大きな数や概数の表し方について、正しく理解することができていました。 ● 示された考えを基に、数の相対的な大きさを使って、小数の減法を整数の減法に応用して説明する問題の正答率が低かったです。 ● 2つの数量の関係を、もとの大きさの何倍になるかを考える問題の正答率が低かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドリル学習を継続し、基礎的事項の更なる定着を図ります。 ・ 学び合いの場を積極的に取り入れ、立式の意味や計算の仕方などを言葉にして伝え合うことで、数学的に考え表現する力が身に付くように努めます。 ・ 割合についての問題では、図に整理して表していく中で、正しく立式することができるように学年末に復習をします。
中曽根小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4年生の漢字は正しく読むことができています。 ○ 条件に即した文章を書くことができています。 ○ ことわざや漢字辞典の使い方については概ね理解できている。 ● 教科の正答率は、市平均を上回っているが、全国平均を若干下回っている。 ● 下学年の漢字を正しく書くことや主語・述語・修飾語を見付けることができていない。 ● 話合いの内容を聞き取り、話し手の工夫を探したり司会の役割を見付けたりすることが難しい。 ● 説明文の内容を大まかに捉え、情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な学習を継続して行い、定着を図る。 ・ 文章を書く際には、既習漢字を使って書くように声を掛け、意識して書かせるようにする。 ・ 教師が連絡事項等を児童に伝える時に、児童にメモを取らせたり話し方の工夫を見付けさせたりすることで聞き取る力を伸ばしていく。 ・ いろいろな簡単な説明文を読ませ、内容を要約させる活動を定期的に取り入れる。

	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算のきまりを理解して、分配法則や（ ）のある式の計算ができています。 ○ 大きな数やがい数の表し方は、概ね理解できています。 ● 教科の正答率は、市平均を上回っているが、全国平均を若干下回っている。 ● 図形の性質の理解や折れ線グラフの読み取りに課題が見られる。 ● 小数の仕組みの理解やもとの大きさの何倍になるかの比べ方を考えることに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な学習を継続して行い、定着を図る。 ・ 学年末の復習の際に、図形の性質や折れ線グラフの読み取り等の問題を重点的に行う。 ・ 小数や割合の意味を再確認させ、定着に向けて操作活動を意図的に行ったり、練習問題の積み上げをしたりする。
中之庄小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ ことわざや様子を表す語彙の意味を理解できている。 ○ 中学年で学習している漢字の読みは概ね定着している。 ● 主語や述語、修飾語など文の構成に関する知識が十分に身に付いていない。 ● 記述問題では、条件に従って、内容をまとめることや情報を整理して要約することができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝ドリルやChromebookを使ったドリル学習を反復して行い、国語に関する知識の定着を図る。 ・ 字数やキーワード、段落などの条件を提示して、文章に分かりやすくまとめる活動を取り入れて、書くことや要約することへの抵抗をなくす手立てを工夫する。その際に、Chromebookで推敲したり、友達と比較してまとめたりして、効果的に活用する。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上から○けたのがい数の表し方や（ ）のある計算のきまりを概ね理解している。 ● 垂直・平行や四角形の性質に関する理解が十分ではない。 ● 小数に関する理解が十分身に付いていないため、小数のたし算や小数から整数への単位換算ができていない児童が多い。 ● 記述問題では、解答しようとする意識の向上は見られるが、条件に従って説明することができていない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別学習や放課後学習を充実させ、一人一人に対するきめ細やかな指導に努める。 ・ プリント学習やChromebookを使ったドリル学習を反復して行い、基礎的な内容の定着を図る。 ・ ICTを効果的に活用するだけでなく、実際に操作したり体験したりする活動を十分に確保した算数科の授業づくりに努める。 ・ 個の考えやグループ学習での学びを自分の言葉で表し、伝える活動を多く取り入れることで、表現する力の育成を図る。
寒川小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4学年に配当されている漢字の読みがよくできています。 ○ 語彙が豊かであり、語句に対する理解が深まっています。 ● 既習の漢字を書くことに課題があります。 ● 叙述を基に説明文の内容を読み取ったり、情報と情報の関係について理解し、中心となる語や文を見つけて要約したりすることができていませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の漢字の小テストを実施し、定着を図ります。 ・ 文章全体の内容から、段落ごとのまとめやキーワードになる語を見付け、内容を読み取ることができるように授業や学習プリントを活用して読解力を養っていきます。 ・ 説明文の要約や、授業のまとめなどを通して、事実だけでなく、自分の考えや理由を挙げて文章を書く機会を増やしていきます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国平均とほぼ同程度で、概ね良好な状況でした。 ○ わり算の筆算や大きい数の表し方等の基礎基本が定着していました。 ○ 角の大きさの読み取りやコンパスを用いた作図ができていました。 ● 基準量を求める割合の理解に課題が見られました。 ● 数の相対的な大きさを使い、小数の減法を整数の減法に直すことが不十分でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習や授業の隙間時間に、復習プリントをしたり、ドリル型学習ソフトウェアを活用したりして、学習内容を定着させていきます。 ・ 朝学習や宿題等で基本的な四則計算の復習を定期的に行い、文章から立式する力を身に付けます。 ・ 割合を求める文章問題に多く取り組み、理解を深めます。
豊岡小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物の気持ちについて叙述を基に捉えて、感じたことや考えたことを共有すること。 ○ 情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見つけて要約すること。 ● 文章の書き方について正しく理解すること。 ● 段落の役割について理解しながら書くこと。 ● 3年生の漢字を正しく書いたり読んだりすること。 ● 制限時間内に問題を解くこと。(テストの後半に無回答が多い。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で自分の考えを基に文章を書く活動をこれまで以上に取り入れる。その際には、段落を意識し、文字数や使用ワード、制限時間などの条件を指定するようにする。 ・ 授業で漢字の書き取り練習を継続して行っていく。家庭学習でも、既習の漢字の復習を取り入れる。 ・ 授業で文章の構成と役割についての復習を行う。特に、主語・述語の関係や修飾語の役割を理解させることに力を入れる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章問題を解くために式を立て、正しい答えを求めること。 ○ 計算のきまりを使って計算すること。 ● 小数の減法を整数の減法に直すこと。 ● 除法の性質を理解し、工夫した計算の仕方を説明すること。 ● 図形を正しく作図すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や家庭学習で学習内容の総復習を行う。特にわり算、図形の学習に力を入れる。 ・ 学習内容を効率的に復習できるように、タブレットを用いたドリル学習を活用していく。 ・ 放課後に補充学習を行うなどして、個に合わせた指導を充実させ、学力の底上げを図る。 ・ 授業で児童同士で教え合うなど、学び合う場を意識的に設定し、解き方の説明ができるようにする。

新宮小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、全国、市平均を大きく上回っています。 ○ 基本的な漢字の読み方や主語と述語の関係について正しく理解することができています。 ● 話の内容を正しく聞き取り、答えることが十分とは言えません。 ● 情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話すことに課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復習プリントや学習ソフト等を活用して、基本的・基礎的な漢字や言葉の学習の復習を行っていきます。 ・ 学習活動に「聞く」「話す」活動を積極的に取り入れることで、聞いて考える力を養っていきます。 ・ 文章を読み、段落相互の関係や、筆者の考え等を読み取る練習を取り入れていきます。また、読み取った内容や自分の考えをまとめる活動に取り組んでいきます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、全国、市平均を十分上回っています。 ○ 億や兆といった大きい数の表し方を正しく理解できています。 ● 平行四辺形やひし形の作図が十分とは言えません。 ● 簡単な場合についての割合を表す問題に課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的・基礎的な計算は、時間を意識しながらも正確に答えを求められることができるように練習問題に取り組んでいきます。 ・ 十分にできていない内容については、復習プリントや学習ソフト等を活用していきます。多くの問題に取り組み、内容の定着・苦手の克服ができるようにしていきます。
長津小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話合いの内容を聞き取ることができています。 ○ 第4学年で学んだ漢字を正しく読むことができています。 ● 第3学年で学んだ漢字を正しく書くことに課題があります。 ● 説明文を正しく読み取ったり要約したりすることが苦手です。また、書く内容を明確にしながらかき文章を書くことにも課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も漢字スキルを活用し、日々の漢字練習に努めます。日記指導や日々の振り返りの中で学んだ漢字を活用するように指導していきます。 ・ 語彙を豊かにしたり、読むことに慣れたりするためにも読書活動をさらに進めます。(朝読書・宿題) ・ 説明文や物語文を正しく読むことができるように文章問題のプリントを活用し、読むことに対する抵抗を少なくしていきます。また、学習中の振り返り活動などを通して文章を書くことへの抵抗も少なくしていきます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きい数の仕組みについて理解しています。 ○ 分度器を使って角の大きさの読み取り方を理解しています。 ● 図形やグラフに関する問題が苦手です。 ● 余りのあるわり算の計算に課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリント学習やタブレット学習を効果的に用いることで繰り返し学習をし、基礎的な学習の定着を図っていきます。 ・ 図形の学習では、実際に図形を描いたり、形を作ったりして具体物を用いて学習を進めます。 ・ 今までに学んだ学習も定期的に復習する時間をとることで、学習の定着を図っていきます。
小富士小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語の内容を読み取る問題で、登場人物の行動や気持ちについて叙述を基に捉える問題は正答率が高い。 ● 漢字などの知識問題の正答率が低い。 ● 時間が足りず、最後の問題までたどり着けない児童が多かった。 ● 記述式問題の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の小テストなどを行い、知識を向上させる。 ・ 学力テストのような読解問題に取り組む。 ・ 日頃から日記や作文など文章を書く習慣を付ける
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ テストの直前で学習した概数等の内容の正答率は高い。 ● 単位の変換の正答率が低い。 ● 小数点のある式の作成ができていない。 ● ひし形、平行四辺形などの作図と、それに伴う問題の正答率が低い。 ● 割り算の筆算など基礎的な学力の定着に差がある。 ● 時間が足りず、最後の問題までたどり着けない児童が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎問題の復習を行う。 ・ Chromebook のドリル学習で、各自苦手な分野に取り組む。 ・ 学力テストのような単元複合問題に取り組む。
北小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を正しく読むことができています。 ○ 物語文において、叙述を基に登場人物の気持ちを読み取ることができています。 ● 聞き取りの問題において、話合いにおける司会の役割を理解することが不十分です。 ● 決められた条件に沿って、事実や自分の考えを文章にすることに課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキルタイムに漢字の読み書きの練習を行ったり、適宜小テストを実施したりして、基礎的な力を身に付けさせていきます。 ・ 司会等の役割を意識しながら、みんなで話し合う機会を設けていきます。 ・ 新聞記事等に対する自分の考えを書く活動を取り入れていきます。その際、文字数を指定したり、事実と自分の考えを区別したりして、決められた条件下で分かりやすい文章を書くことができるように支援していきます。

	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小数の大小比較や数直線上に示された大きい数の読み取り等、数の大きさについて理解することができています。 ○ 分度器の中に示された角の大きさを正しく読み取ることができています。 ● 図形の定義や正しい作図の仕方について理解が不十分です。 ● 日常生活の問題を算数化し、条件に合うものを選んだり、その理由を答えたりする問題に課題が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキルタイムに計算練習を行ったり、適宜小テストを実施したりして、基礎的な力を身に付けさせていきます。 ・ 学年末の復習として、図形の定義を振り返り、作図の仕方についておさらいをします。 ・ 授業では、答えを求めるだけでなく、そのように考えた理由を説明する活動を積極的に取り入れていきます。また、授業時間以外にも、算数科の学習が生かせる場面を捉え、日常の事象と算数とを結び付けて考えられることができるようにしていきます。
土居小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の漢字の読みについての正答率がやや高い。 ○ 物語の内容を読み取り、登場人物の気持ちについて叙述に基づいて答えることはできている。 ● 情報と情報の関係について理解し、理由や事例を挙げながら話すことの正答率が低い。 ● 内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを文章に書く問題の正答率が低い。 ● 第4学年までに学習した漢字を書くことは課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の授業の中で書く活動を取り入れ、書くことに対する苦手意識を軽減し、書くことに慣れるよう授業改善を行う。 ・ 感想や自分の考えを書くだけではなく、伝えたい事柄について事実と感想に分けて読み手に伝わるように授業で書く時間を位置付けたり、家庭学習に取り入れたりする。 ・ 朝のドリルタイムの継続による漢字の読み書きの基礎・基本の定着を図る。 ・ スピーチや発表の際に、理由や条件を付けて話す活動を積極的に取り入れる。 ・ 普段から話し手に体を向け、耳だけでなく目や心でも話を聴くことを徹底し、伝えあう力を育てていく。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 概数について理解し、対応する数の範囲を表すことについては正答率が高い。 ○ 計算のきまりを使って、() のある式の計算について、理解している。 ● 2つの数量の関係を、もとの大きさの何倍になっているかを考えて比べる問題についての正答率が低い。 ● 図形の作図についての理解が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四則計算を正しく行えるよう、丁寧に計算し、見直しを確実にを行う習慣を付けるとともに見届け、個別指導を確実にを行う。 ・ 垂直・平行の関係や三角形・四角形の特徴の復習を行う。また、これらの特徴を踏まえて、作図もできるような効果的な操作活動を取り入れていく。 ・ 朝のドリルタイムの積み上げや e ライブラリ等のドリル教材による反復練習の継続により、基礎的・基本的な計算の定着を図る。
関川小	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話合いの内容を聞き取って理解したり、文章を読んで登場人物の気持ちを理解したりすることができている。 ○ 第4学年に配当されている漢字を正しく読むことができている。 ● 第3学年に配当されている漢字を正しく書くことに課題がある。 ● 与えられた時間内に、説明文を読んで正しく理解することに課題がある。 ● 取材内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字テストを定期的実施し、定着を図る。熟語や例文をとおして身に付けられるようにする。 ・ フォローアップシートを活用し、読解力を高めたり説明文の問題に慣れたりする。 ・ 書く時間やテーマを決めて文章を書く活動を定期的に取り入れる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な学習内容の理解ができており、特に、大きい数や概数の表し方、計算のきまりがよく定着している。 ● 小数で表された重さの単位を別の単位に換算することに課題がある。 ● 四角形において、対角線の性質の理解やひし形の作図で課題が見られた。 ● 折れ線グラフや棒グラフをもとに、目的に合う数を見付け、その理由を答えることに課題が見られた。 ● わり算の性質を理解し、計算の仕方を説明することに課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書で学習したことを中心に基礎的な問題の反復練習を行い、応用問題に取り組みさせるようにする。 ・ 問題文から分かることや問われていることに線を引くなどして、問題の内容の整理ができるようにする。 ・ 「まず」「次に」「最後に」などの言葉を使って、問題の解き方を言葉と式で説明する機会を増やす。